

# 飲酒の大型トレーラー暴走

電柱倒し、停電 理髪店の壁に突っ込み止まる

酒気帯び運転で、運転手の男逮捕

◇違反だと…分かってやってる、『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」◇

2019年01月24日 11時19分

24日午前5時ごろ、岡山県の国道を走行中の大型トレーラーが道路左側にそれ、電柱1本を倒し、理髪店の側壁に突っ込んで止まった。警察は運転していた運転手の男(45)から飲酒検知で呼気1リットル中0・15ミリグラムのアルコールを検出したため、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕した。「酒を飲んで運転中、建物に突っ込む自損事故を起こしたことに間違いはない」と容疑を認めている。事故の影響で周囲の民家など約710戸が約2時間半停電した。付近の信号機4基も一時止まり、同署員が交通整理した。

# 車間距離を詰められ、「腹を立て」

「急ブレーキ」 あおり運転、傷害(刑法)を適用

車間距離詰めた後続車も送検

2019年1月24日 午前7時20分

福井県で、急ブレーキを繰り返すあおり運転を行い、後続車に追突させ軽傷を負わせたとして、運転していた40代男性を傷害の疑いで書類送検していたことが、警察への取材で分かった。警察があおり運転で暴行、傷害などの刑法を適用したのは初めて。後続車の40代男性も、車間距離を詰めて接近したとして自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで書類送検した。

警察によると、県道で、軽乗用車に後続の乗用車が接近。車間距離を詰められたことに腹を立てた前方車の男性は、故意に急ブレーキを2度かけた。1度目はぎりぎり後続車が停止したが、2度目は対応しきれず追突した。双方の運転手がともに首などに軽傷を負った。

前方車の男性は、後ろの車が車間距離を詰めてあおり運転をしてきたと主張。後続車の男性は、前の車が急ブレーキをかけたためぶつかったと主張したという。

# 保育園の敷地内で車と接触 2歳女児死亡

◇車を発進させるときは、『前後左右』の安全確認◇

2019/1/24(木) 15:31

24日午前7時半過ぎ、大分県の保育園の敷地内で、この保育園に通う2歳の女の子が車と接触し死亡した。女の子が保育園の駐車場から出てきたところで、同じ駐車場から出てきた乗用車と接触し、頭蓋骨骨折などを負っており搬送先の病院で死亡した。女の子は母親の車から降りた後に車に接触したということです。

# 午後9時 街灯のない夜道、死亡事故

89歳男性、複数の車にはねられたか

◇薄暮時間帯・夜間、ヘッドライトは、『遠目(ハイ・ビーム)』が基本…早期発見で事故防止◇

2019/1/24(木) 12:04

23日午後9時20分ごろ、岡山県で男性(89)が車にはねられ死亡しました。この男性は、ほかの車にもひかれた可能性があり調べています。現場周辺に街灯はなく、乗用車を運転していた男性(25)は「当たってから気付いた」と話しているということです。